

# オリンピック聖火が57年ぶりに長崎へ



1 出発式 2 第1走者として走る石原さとみさん 3 第2走者へ聖火をつなぐ  
 5 「遣唐使船」が聖火を乗せて長崎港を航行 6 建築家の隈研吾さん(左)と次走者 7 到着式

世界平和を祈って  
 希望の灯を未来へ

3月25日に福島を出発し、各地の思いが込められた東京五輪の聖火が5月7日に長崎市に到着。新型コロナ対策で一部短縮された3.8キロを、25人のランナーの手でつなぎました。

スタート地点の平和公園では、聖火リレー公式アンバサダーで俳優の石原さとみさんが第1走者として登場。被爆者との交流をきっかけに長崎市での走者を希望した石原さんは、「心から世界平和を祈って」「この希望の灯を未来へつなげていきたい」とあいさつしました。

ゴール地点の長崎水辺の森公園では、最終走者を務めたキャスターの草野仁さんが聖火皿に点火し、その日のリレーを締めくくりました。

●問い合わせ●  
 スポーツ振興課  
 ☎824-3728